資料3－1

第２期創生総合戦略の外部評価の実施方法について

●　内部評価（市役所の担当部局による評価）

＜評価の目安＞

（パターンA）年次目標値に対する達成度で評価するもの

評価区分		達成率区分	評価にあたっての目安・留意事項
①	順　　調	100%以上	指標を上方修正できるものについては、修正の検討を含めた、今後の取組方針や、方向性等を記載します。
②	概ね順調	80%～99%	「概ね順調」という評価を踏まえ、課題、今後の取組方針や方向性等を記載します。
③	やや遅延	60%～79%	「やや遅延」という評価を踏まえ、課題、今後の取組方針や方向性等を記載します。
④	遅　　延	0%～59%	「遅延」という評価を踏まえ、課題、今後の取組方針や方向性等を記載します。 ※取組は進めているが、達成率が0%の場合は「遅延」とします。

（パターンB）指標の性質上、「できた」「できなかった」で評価するもの

評価区分		達成率区分	評価にあたっての目安・留意事項
①	達　　成	100%以上	取組を進める上での課題、今後の取組方針や方向性等を記載します。
⑥	未　達　成	0%～99%	

●　外部評価（総合企画委員による評価）

各施策の令和７年度（最終年度）実績及び基本施策を推進する実施計画の事務事業をご一読いただき、施策の各指標（数値目標、ＫＰＩ）について、以下の①～④のいずれかで評価をお願いします。

評価区分	評価の内容
①	計画以上に進捗しており、十分評価できる。今後も継続して施策の推進に努めてほしい。
②	ほぼ計画通りに進捗しており、一定の評価はできる。今後も計画以上の進捗に向け施策の推進に努めてほしい。
③	目標をやや下回る要因の分析を要する。今後の進め方を再度検討する必要がある。
④	目標を大きく下回っており、その要因の分析と施策の見直しが必要である。

● 創生総合戦略の評価シートの記入例

【基本情報】

戦略の柱	Ⅲ	にぎわいにあふれ安心して暮らせる`まちづくり´
基本目標	Ⅲ-1	都市部等とのつながりを築き、人が行きかうまちづくり
基本的な方向	しごとはもとより、暮らしを重視した「まち選び」に対応するため、自然や文化、地域のきずなの中での子育てなど、豊かで多様な鳥取市のライフスタイルを広く周知しながら、移住・定住を推進するとともに、将来的な移住が期待される交流人口の拡大や関係人口 の創出・拡大に取り組みます。	
基本目標の達成に向けて推進する重点施策	311	ふるさと・いなか回帰の促進
	312	滞在型観光の推進
	313	シティセールスの推進
	314	文化芸術によるまちづくりの推進
	315	自治体間連携の推進

基本目標です。

【基本目標における数値目標】

指標1

指標名			移住定住者数							
指標の説明			R3～7年度に本市に移住した人数の累計。							
関連する重点施策			施策コード	施策名						
			311	ふるさと・いなか回帰の促進						
			312	滞在型観光の推進						
			313	シティセールスの推進						
			314	文化芸術によるまちづくりの推進						
			315	自治体間連携の推進						
年度			H30	R1（策定時）	R2	R3	R4	R5	R6	R7（目標）
目標値(単年)		人	-	-	-	480	480	480	480	480
目標値(累計)	A	人				480	960	1440	1920	2400
実績値(単年)		人	-	359	389	462	458	451	507	
実績値(累計)	B	人				462	920	1371	1878	
達成率	B/A	%	-	-	-	96.3%	95.8%	95.2%	97.8%	
所管部局（課）			市民生活部（地域振興課）							

基本目標の達成度を評価するため設定した指標「移住定住者数」です。

内部評価	
評価	評価コメント（課題・今後の方向性等）
①順調	順調に移住者数を増加させ、目標を達成することができた。 今後も情報発信や丁寧な相談対応に努めるとともに、市内高校生や県外に進学した学生に対する取り組みなど、各部局の事業と連携をとりながら、様々なチャンネルを通じて移住定住を促進していきたい。

外部評価（総合企画委員会）	
総合評価	評価コメント

指標「移住定住者数」に関する評価を、①～④の４段階で「総合評価」欄に記入します。

評価に関する意見等があれば、「評価コメント」欄に記入します。（意見等なければ空欄）

重点施策「ふるさと・いなか回帰の促進」です。

【施策情報】

戦略の柱	Ⅲ	にぎわいにあふれ安心して暮らせる`ま
基本目標	Ⅲ-1	都市部等とのつながりを築き、人 さかうまちづくり
重点施策	311	ふるさと・いなか回帰の促進
施策の基本的方向	移住希望者や地元出身者が住みたい、ふるさとへ帰ろうと思えるまちづくりを進めるとともに、情報発信・相談体制・受入体制を充実します。また、交流人口の拡大や、将来的な移住が期待される関係人口の創出・拡大に取り組みます。	

【評価指標】

重点施策の達成度を評価するため設定した指標「移住相談登録者数」です。

重要業績評価指標（KPI）1

指標名			移住相談登録者数							
指標の説明			本市への移住に向けて相談員によるサポートを希望するために相談登録を行った当該年度の人数。							
年度			H30	R1（策定時）	R2	R3	R4	R5	R6	R7（目標）
目標値	A	人	-	-	-	200	250	320	400	500
実績値	B	人	-	449	223	168	287	233	272	
達成率	B/A	%	-	-	-	84.0%	114.8%	72.8%	68.0%	
所管部局（課）			市民生活部（地域振興課）							

内部評価	
評価	評価コメント（課題・今後の方向性等）
③ やや遅延	単年度の移住相談登録者数は、前年度より増加させることができたが、目標値には達することができなかった。 目標値の達成に向けては、各種SNSや移住定住専用ポータルサイトでの情報発信に加え、関係期間や他部署の取組に係る情報収集に努めるとともに、本市の魅力を発信する取組を実施していく。

外部評価（総合企画委員会委員）	
総合評価	評価コメント

指標「移住相談登録者数」に関する評価を、①～④の４段階で「総合評価」欄に記入します。

評価に関する意見等があれば、「評価コメント」欄に記入します。（意見等なければ空欄）

重点施策を推進する事務事業の実績一覧です。前年度に実施した「事業の概要」や「成果」、市の所管課が考える「今後の課題・方向性」を記載していますので、重点施策の評価の参考にします。

【基本施策を推進する実施計画の事務事業】

戦略の柱	Ⅲ	にぎわいにあふれ安心して暮らせる‘まちづくり’
基本目標	Ⅲ-1	都市部等とのつながりを築き、人が行きかうまちづくり
重点施策	311	ふるさと・いなか回帰の促進

No	事務事業名	事業の概要（令和6～7年度）	事業の成果（令和6年度）	施策への貢献度（実績）	今後の課題・方向性	部局名	課名
1	鳥取市・麒麟のまち圏域魅力発見支援事業費	本市に所在する大学または専門学校に通う学生を対象に、麒麟のまち圏域の企業への就職促進や地域の魅力の理解促進を図ることで、若者定住につなげる。	・学生の麒麟のまち圏域への就職を促進する事業への補助 ・学生が麒麟のまち圏域に住み続けたいと思えるような魅力を発見するための事業への補助 　補助件数４件（大学２件、専門学校２件）	市内大学及び専門学校が学生に対して実施する活動を支援することで、学生の地域への愛着心の醸成や定住意欲の向上を図った。	就職を理由とする若者の都市部への流出が続いているため、市内の大学や専門学校が、学生を対象に実施する麒麟のまち圏域の企業等への就職促進活動や魅力発見活動の支援を継続し、若者定住につなげていく。	企画推進部	政策企画課
2	文化芸術推進事業補助金	文化芸術に関する事業に必要な経費を補助することにより、自主的な文化芸術活動の促進、地域に根差した文化芸術の振興を図る。	市民による文化芸術に関する事業への支援を実施した。 ・イベント開催等に対する支援　12件 ・次世代育成（アートスタート）事業に対する支援　４件 ・伝統芸能用具整備に対する支援　４件	市民による活動を支援することにより、文化芸術活動の衰退やまちの活力や魅力の低下を防ぐことで、文化芸術によるまちづくりの推進に貢献した。	文化芸術によるまちづくりを進めるうえで、地域の文化芸術活動の活性化が必要であることを踏まえ、今後も市民による活動に対する支援、普及啓発、次世代育成などに取り組む。	企画推進部	文化交流課
3	人材誘致・定住促進対策事業費	移住定住専任相談員等の配置や移住・交流情報ガーデンの設置により、移住相談者等に対する伴走型支援を実施するとともに、移住希望者が本市の情報に触れる機会の増加に向け、大都市圏での移住相談会への出展や移住定住専用ポータルサイトの運営等による戦略的な情報発信を展開する。 さらには、お試し定住体験施設の管理運営や地域団体等との連携による中山間地域の空き家の利活用を促進することで、移住定住の推進や自立した地域コミュニティの維持につなげる。 加えて、麒麟のまち１市６町で連携した取組の実施により、圏域での移住促進を図る。	・移住相談窓口（本庁舎）及び鳥取市移住・交流情報ガーデンの設置 ・移住定住専用ポータルサイトの運営及び戦略的な情報発信の実施 ・東京及び大阪での全国規模移住相談会（オンライン開催含む）への出展　圏域合同２回　単独６回 ・各種移住支援制度による補助金の交付　計31件 ・お試し定住体験施設の管理運営　４施設（市街地１、用瀬１、佐治１、気高１） ・移住定住空き家バンクの管理運営　９地域 ・移住定住等による中山間地域の空き家の利活用に係る各種補助金の交付　計５件 ・麒麟のまち圏域の空き家情報の発信	対面移住相談会への出展や各種SNS及び移住定住専用ポータルサイト「とっとりコネクト」での情報発信等により、令和６年度は272世帯の移住相談登録があった。相談者に対する移住定住専任相談員による伴走型支援の実施や各種移住支援制度による支援により、507人（速報値）と過去最高の移住者の受け入れにつながった。これにより、地域の活性化が期待される。	前年度との比較で、移住相談登録者数・移住者数はともに増加した。今後もポータルサイト等での情報発信により登録者数の増加を図るとともに、移住定住専任相談員による丁寧な相談対応により移住者数増へ繋げていく。また、移住希望者等のニーズ把握に努め、移住支援施策の充実を図る。	市民生活部	地域振興課